

地域に愛されて 30 周年

～園芸科のこれまでとこれから～

開校 30 周年という大きな節目を迎え、園芸科はこれからも地域に根ざした活動を続けてまいります。

私たちの活動の拠点は、豊かな実りをもたらす農場、ビニールハウス、温室です。ここでは、安心・安全にこだわり、手間暇を惜しまず「無農薬」での野菜栽培に励んでいます。大切に育てたトウガラシや長ネギを地域へ提供するなど、活動の幅を広げています。また、校内での活動にとどまらず、せせらぎ公園の花壇整備や、地域の各所へ私たちが育てたプランターの花をお届けする活動も行い、街を彩るお手伝いをしています。さらに、外注作業といった実践的な活動にも取り組み、技術の向上に励むとともに地域社会への貢献を目指しています。

農場・ビニールハウス・温室での作業



作業学習では、ハウス設営や圃場の粗起こしから始まり、畝作り・マルチ張り、播種、定植、灌水、除草などの様々な作業を行っています。どの学年も一生懸命作業に取り組み、数多くの花や野菜を育て、皆様に喜ばれる販売を目指しています。

地域での作業



1学年は国道花壇の播種・苗の育成、2学年・3学年は、公園の花壇整備や近隣の施設へプランターの設置などを行い、環境美化活動に取り組んでいます。また、今年度、新たな取り組みとして3学年で校舎前での地域販売、市役所へ出向いての販売会などを実施し、たくさんの方にご購入いただきました。生徒たちは、地域の皆様とのふれあいを通して、貴重な経験を積むことができました。

外注作業



市内の飲食店や販売所からの外注を受け、本校の圃場やハウスで育てた新鮮な野菜を収穫し、一つ一つ丁寧にチェックし、包装を行い出荷の準備をし、納入させていただいています。また、紋別市のふるさと納税返礼品としても人気を集めている、アヒージョの箱詰め作業やとうがらしの外注を受け、アヒージョは全国各地に送り届けられています。

花や野菜、そして日々の作業を通じて地域のみなさまとの絆を深められることは、私たちの大きな喜びです。30年の伝統を胸に、「地域に愛される園芸科」を目指して、これからも一生懸命、植物と向き合っていきたいです。